

第39回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校同窓会への入会を心より歓迎致します。さて、2021年の同窓会の取り組みとして、「創立40周年記念式典」(令和3年11月5日)イズミティ21にてを開催致しました。「漲る力胸に秘めて丘に立つ」この校歌が歌い継がれて早40年となりました。式典開催にあたり、第16代校長徳能先生を初め、40周年行事担当大内先生、母校の先生方には心より感謝致します。泉松陵高校は、昭和より開校。創設期は、「体育馆の横断幕」にもあるように「杜の都の覇者となれ!」を目標に、仙台で「一番の『魅力ある高校』を作ろうと、教員生徒一丸となつて日々を活動してきました。このように教育環境は整つておらず、通学も「電動アシストなし自転車」の時代です。日々の勉学、部活動に加え、「校庭の石拾い」「中庭の雑草取り」など環境づくりからスタートしました。伝統校と向かい合ひながら、我々の活動がいかに伝統を築くかが、心に残りました。記念公演のゲストを招請するにあたっては、母校の節目の年に開校以来、自立啓発・友愛協調・堅忍不撓の校訓のもと、地域社会、外で活躍する人材を輩出してきました。この恩直に、ひたむきに過ごした日々を想い出ことし、式典を行なうことを発刊できることは、この上ない喜びです。

本校は、開校以来、自立啓発・友愛協調・堅忍不撓の校訓のもと、地域社会、外で活躍する人材を輩出してきました。記念公演のゲストを招請するにあたっては、母校の節目の年に開校以来、自立啓発・友愛協調・堅忍不撓の校訓のもと、地域社会、外で活躍する人材を輩出してきました。この恩直に、ひたむきに過ごした日々を想い出ことし、式典を行なうことを発刊できることは、この上ない喜びです。

本校は、開校以来、自立啓発・友愛協調・堅忍不撓の校訓のもと、地域社会、外で活躍する人材を輩出してきました。記念公演のゲストを招請するにあたっては、母校の節目の年に開校以来、自立啓発・友愛協調・堅忍不撓の校訓のもと、地域社会、外で活躍する人材を輩出してきました。この恩直に、ひたむきに過ごした日々を想い出ことし、式典を行なうことを発刊できることは、この上ない喜びです。



卒業生へメッセージ

卒業生の皆さんこの度はご卒業おめでとうございます。皆さんにとつて、泉松陵高校の学校生活はどんなものだったでしょうか。思い返してみると、楽しかったこと、大変だったこと、さまざまなもの思い出があつたことと思います。今年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響により、授業や行事が例年とは違つ形で行われたりなど、とても大変な年であつたと思ひます。また、受験生ということもあり、自分の進路を決めるという大きな選択にも迫られ、非常に悩み、考えさせられる時期でもあつたと思います。大きな壁にぶつかり、挫折するといふことがあります。そこで「もうお終いだ」と挫けてしまうのではなく、

ひたすら努力することでその壁を破ることができると思います。結果はもちろん大事ですが、それまでの努力してきたという事実は結果以上に価値があると思います。もしもしたら、一人ではどうにもならず悩むことがあるかもしれません。そんな時は一緒に切磋琢磨しあつた仲間たちがついています。投げ出したくなつた時には仲間たちがきっと手を差し伸ばしてくれるはずです。友人だけではありません。先生や家族もきっと手を差し伸べてくれるはずです。これからそれぞれが自分の進路に向かって歩き出し、また一からスタートとなり、慣れない環境、慣れない生活に苦労することがあるかもしれません。しかし、もう周りには応援してくれる人がいます。周りの人に頼ることなんて恥ずかしいことではありません。応援してくれている人がいるんだということを忘れずに、お互いが支え合えるようにしていってください。

皆さんこの度はご卒業おめでとうございます。
38回生副幹事長 千葉未彩希
入学当初に想像していた高校生活
と比べてどうでしたか。泉松陵高校
での3年間はどういうな時間でした
か。濃密な高校生活を振り返り、勉
強や部活や対人関係と様々な場面を
回顧していることでしょう。その中
でも、今年卒業生の皆さんは新型コ
ロナウィルスの影響を大いに受けた

卒業生の皆さん、ご卒業おめでと
38回生副幹事長 佐藤歩子

いる間にも歩みは進み、価値観は亦変わります。「継続は力なり」とは言いますが、何かを続けることはとても大切で諦めることは簡単です。振り返った時に最も自信となり力を与えてくれるのは挑戦し努力し続けた経験です。例え何かを辞めたり諦める選択をしたとしても、時間をかけた悩み抜いたことならば後悔はありません。そして、悩んだ時には周りの人達を頼ってください。1人では解決できないこともあります。他者から言葉は必ず皆さんの助けになります。

最後になりますが、皆さんが自信を持つて輝く道を歩めるよう応援しています。

も、その失敗がどれだけ悔しくて悲しかったとしても、必ず「良い経験」

現在大学に通っています。大学生活をしていく中で、辛いことがあつた時に、高校生の頃の思い出を振り返り気持ちをリフレッシュさせ、大学生活を乗り越えています。高校生の思い出というものは一生鮮明に覚えていることだと思います。皆さんが高い高校で経験したことは必ずこれから先、活かしていくことができます。就職先や進学先でうまくいかないことがきっかけとなると思います。ですが、高校生活での思い出、先生から頂いた言葉、自分で身につけた力、これがあれば必ず乗り越えられます。

最後になりますが、私からエールを送りたいと思います。皆さんが決めた道は正しいと言えます。もし

と思います。あつたことで、あつたから、人生の大きな選択の中進路を、銘を受けています。さて、新年度を歩むことにならぬ道を歩む中で、くさんの選択をされることもありますが、これまで何度も頭な時の選択肢の「持」があること、たいです。冒頭が、皆さんには、變化があつたと、には想像がつかげたと思います。な時期を生きて、のようにならぬ現状維持は立ります。「現

進路決定にも影響が
よう。特殊な状況下
そ、より自分の進路
出来たのではないで
どとした社会を前に、
選択を迫られるプレッ
スを決断したことに感
えから皆さん各々の道
ります。この先新し
、これまで以上にた
迫られます。時には
諦める選択肢が生ま
ます。わたし自身こ
を抱えました。そん
の1つとして「現状維
を皆さんにお伝えし
でも問い合わせました
つと3年間で様々な
思います。入学当初
ないような成長を遂
いて、短期間で別人
こともあります。「一
ち止まることではあ
状維持」を選択して
うございます。
今年も新型コロナウイルスが収まるこ
となく流行り続け、行事が縮小されたり、修学旅行が変更になつたり
とても悔しい思いをしたことでし
ょう。また、将来を見据えること
ができないなり、就職や受験に辛さ
を感じたり不安を感じたりしたこと
と思います。ですが、今それらを乗り越えた皆さんは、この先どんなこと
があつても乗り越えられる力があると
ると思います。
4月からそれぞれの道へと進むこと
になります。皆さんは泉松陵高校でどの
のような思い出ができましたか。泉松陵高校に夢と希望を持つて入学した1年生の春。クラスの団結力が高まる文化祭や球技大会。達成感のあるマラソン大会。2年生の時には修学旅行。何気ない会話をしながら過ごすお昼休み。登下校した道のり。皆さんそれが様々な思い出で埋め尽くされているのではないで
でしょうか。その思い出はこれから先、とても素敵な宝物となります。私自身の話になつてしまいますが、

| 令和三年度 | | 教職員人事異動 |
|-----------------|----------|----------|
| 〔転出者〕 | 高橋 時明 | 校長（数学） |
| 村山 明 | 主幹（数学） | 仙台向山高校へ |
| 郡山 康博 | （数学） | 仙台第一高校へ |
| 池田 実 | （地歴） | 泉館山高校へ |
| 水間 幹宗 | （保体） | 仙台西高校へ |
| 青山 聰 | （英語） | 仙台大志高校へ |
| 永嶋 省平 | （地歴） | 仙台三桜高校へ |
| 酒井みつ子 | （英語） | 石巻好文館高校へ |
| 伊藤 博 | （実習講師） | 県工業高校へ |
| 菅原 昭雄 | （事務室長） | |
| 県経済商工観光部計量検定所へ | | |
| 〔転入者〕 | | |
| 徳能 順子 | 校長（家庭） | |
| 松山高校から | | |
| 狩野なぎさ（保育） | 富谷高校から | |
| 伊賀 直信（数学） | 仙台南高校から | |
| 高橋 伸明（数学） | 伊具高校から | |
| ジスク会実（英語） | 名取北高校から | |
| 伊藤 巧（数学） | 加美農業高校から | |
| 遠藤 壮真（数学） | 新規採用 | |
| 大高 文男（実習教諭） | | |
| 県工業高校から | | |
| 高橋 萌美（英語） | 常勤講師 | |
| 藤岡 葵（養護） | 常勤講師 | |
| 下山 邦彦（副参事兼事務室長） | | |
| 柴田農林高校から | | |

